

**令和 7 年度第 1 回尾鷲市特別職報酬等審議会
議事録**

日 時：令和 7 年 8 月 2 5 日（月） 1 0：0 0～1 1：0 0

場 所：尾鷲市役所 3 階 第一委員会室

出席者：委員（五十音順）

塩津 史子（尾鷲市婦人の会連絡協議会）
北村 真也（紀北信用金庫）
北村 琢磨（三重県行政書士尾鷲支部）
西 謙一（東海税理士尾鷲支部）
野中 徹（尾鷲ひのきプレカット協同組合）
東 郁夫（尾鷲市水産振興協議会）
森浦 克好（尾鷲商工会議所）

事務局：総務課長、総務課参事、総務課長補佐

議題等：

- 1 委嘱状交付
- 2 市長あいさつ
- 3 会長の選任
- 4 議事
- 5 その他

決定事項：

- 1 森浦委員を会長に選任した。
- 2 審議会は非公開とした。
- 3 次回審議会の資料について（委員からの要望）
 - ①市の財政見通しや報酬等に係る財源の資料
 - ②東紀州 5 市町の比較資料、
 - ③市の基礎年金の推移の資料
- 4 次回開催日 9 月 2 4 日（水）午前 1 0 時 市庁舎 2 階会議室

議事の概要等

1 委嘱状交付

加藤千速市長より委員に委嘱状が交付された。

2 市長あいさつ

市長の挨拶。挨拶後、市長退席。

3 会長の選任

委員の互選により、会長に森浦委員が選任された。

4 審議会の傍聴について

- (1) 率直な意見交換のため、審議会は非公開とした。
- (2) 会議の議事録は、委員個人が特定できない議事録を公開するものとした。
- (3) 報道退席

5 議事

○事務局から諮問の説明（特別職の報酬等の額について）

○事務局から資料の説明

(1) 尾鷲市特別職報酬等審議会条例

(2) 人事院勧告について

令和5年～6年の勧告内容の概要

(3) 尾鷲市の状況について

①人口の推移、②人口の将来推計、③歳入歳出の状況、④主な財政指標、⑤市債の推移、
⑥基金の推移、⑦職員の状況（普通会計分）

(4) 県内各市との比較

①人口等、②市長及び副市長の給与等、③教育長の給与額等、
④議長、副議長及び議員の報酬額等

※資料の訂正8ページ最下段の説明文章について

訂正前「14市中12番目ですが、同額が他に2市あるため、最低で」

⇒訂正後「14市中12番目ですが、同額が他に1市あるため、下から2番目で」

(5) 意見等（要点）

委員：資料8ページの訂正事項について確認。

委員：前回の審議会から10年経つが、今回開催に至った経緯を教えて欲しい。10年ごとに開催するものなのか。

事務局：10年のスパンで開催するものではない。毎年開催することも出来るし、特に何年ごとと決まっているものではない。今年度は、市長選挙、市議会議員選挙もあり、また、10年前と比較すると、物価や財政状況なども変わっている。そのような中、現在の報酬、給与等が適正なものなのか、皆さまに審議していただき、意見を頂くことが必要な時期であるという趣旨で、提案させていただいたものだ。議論が多岐に渡り、結論が出なければ継続審議と言う事も考えられる。忌憚のない意見をいただきたい。

委員：今年は、最低賃金の引き上げが非常に大きい年で、全体的に基本賃金、初任給が上がっていると発表されている。市長や議員にしても、ベースアップ、賃金アップは当たり前にしてあげたいと言うのが市民の声だと思う。前回、10年前は官民格差が非常に開いており、官の方が高いという状況であった。だから見直しが必要ということで、意見を頂きたいということであった。今回はそうではなく、民間のベースアップがかなり高くなっている状況にある。ただ、仮にアップという方向になった場合、財

源はあるのかということになる。資料では、財政状況は下降気味である。財政上の問題を考えなければならないということはあるか。

事務局：職員の人件費と同じで、経常的経費として計上されるものである。財政的なことについては、財政見通し、財源ということになってくるが、次回の審議会では整理し、資料として提出したうえで、説明したい。

委員：9年くらい前からマイナス金利と言う事もあった。経済もデフレが続いて賃金も物価もあがらないという状況だった。本当にここ1、2年で賃金は上がっていますし、相当物価も高騰している。よい意味で賃金が上がり、好循環となればよいが、委員が心配のように、地域の経済の状況が厳しい中で、市の財政について心配されるのも当然だ。上げるにしても、これが市の財政にどのように影響してくるのかということとは、しっかりと提示していただいて、やっていく必要がある。

委員：前回、10年前の審議会にも参加した。それから10年間報酬等が何も変わっていない状況だ。民間もあがってきているなど変化があるので、審議する価値は十分にあり。今回の審議会では、市長、副市長、教育長だけでなく、議会の議長、副議長、議員についても審議するという事でよい。資料を見ると市の比較はあり、市の中では低い水準という現状はわかるが、近隣の町の状況も気になる。市と町は違うが、近隣などは参考にしたい。

事務局：次回、第2回の審議会には、東紀州5市町の比較を資料として提出させて頂く。また、今回の審議会では、市長、副市長、教育長だけでなく、議会の議長、副議長、議員についても審議対象となる。

委員：人口の年齢構成を見ると、尾鷲市は令和2年でも高齢化率が約44%と高い。現在の状況を見るのに、基礎年金の推移を見るとわかると思うので、地域の状況を把握する資料として頂きたい。

事務局：次回に、準備して提出します。

(6) その他

次回の審議会開催は、9月24日（火）の午前10時開催とした。

場所は庁舎2階会議室とした。